


水海道市(みつかいどうし)

	<住所>303-8501 水海道市諏訪町 3222-3 <Tel> 0297-23-2111 <Fax> 0297-23-2161 <HP>http://www.city.mitsukaido.ibarakijp <e-mail>info@city.mitsukaido.ibarakijp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 ごみ処理 し尿処理、消防救急	公営企業 上水道
	類型 1-2 コード番号 082112 面積 79.68k㎡			

<行政組織>

①三役(H16.5.1 現在)

長	えんどう とし 遠藤 利 (76歳)	任期	H15.5.1~ H19.4.30
助役	梅沢 昭	収入役	古谷 孝

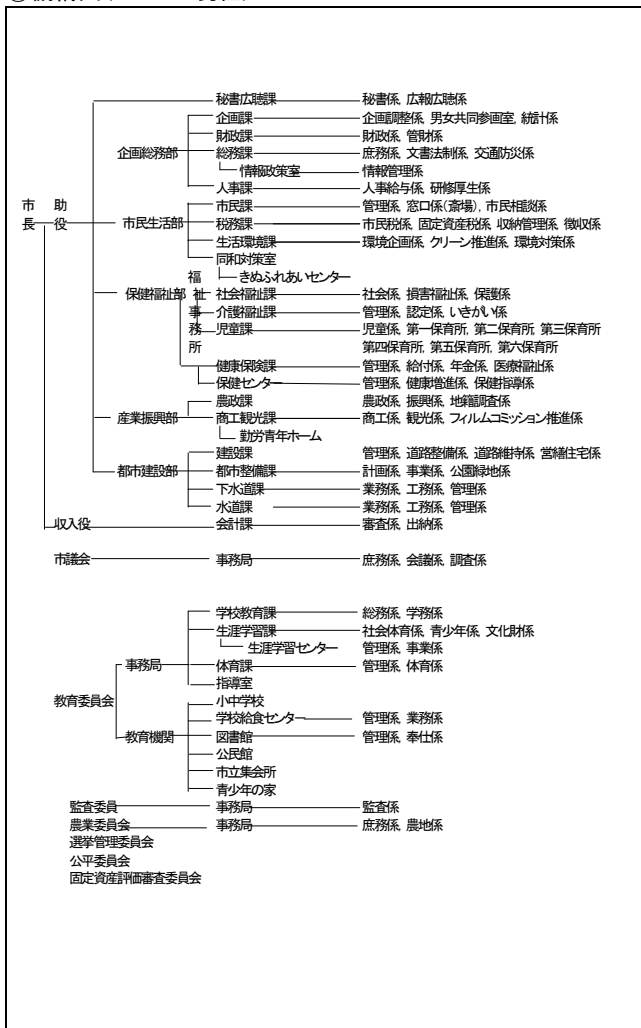
②議会(H16.5.1 現在)

議長	五木田 良一	副議長	鈴木 恒義
任期	H19.4.30	定数	20名
現議員数	20名		
党派別	公明 1 共産 2 無 17		

③職員数(H15.4.1 現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公益事業 会計関係
381	334	283	47
一般行政職の 平均給料月額	361,359円	ラスパイレ 指数	100.1
全職員数 の推移	H12.4.1 400	H13.4.1 392	H14.4.1 382

④機構図(H16.4.1 現在)



<概要>

①沿革

昭和 29 年 7 月 10 日	市制施行	編入 豊岡村 菅原村 大花羽村 三妻村 五箇村 大生村 坂手村
昭和 30 年 3 月 31 日	編入	真瀬村の一部
昭和 30 年 3 月 31 日	境界変更	
昭和 31 年 4 月 1 日	編入	内守谷村 菅生村

②地勢・風土等

当市は首都東京から50km圏、茨城県の最南西部に位置し、面積79.68k㎡、大小9つの一級河川を有する人口約4万2千人の水と緑に恵まれたまちです。地形は、市域の中央を流れる鬼怒川によって2分され、西部地域は概ね洪積層の台地(野方)で集落の周辺に平地林と畑地が点在し、東部地域は平坦な沖積層の低地で広大な水田帯が展開しており、中心市街地はこの南端に位置しています。また、市の中央部を国道294号が南北に、国道354号が東西に走り、地域交通の基幹となっています。当市の歴史をさかのぼると、古くは縄文期の遺跡にまでその足跡を見ることが出来ますが、特に江戸期における発展は著しく、鬼怒川から利根川を経て江戸に至る水上交通路の中継地として常総地方の文化経済の中心的役割を果たしてきました。このように、鬼怒川の水運と豊かな穀倉地帯を背景に発展を遂げてきた当市ですが、近年では、つくばエクスプレスや圏央道といった広域交通網の整備が進む中、住宅地開発や公共下水道等の生活環境の整備、高齢社会への積極的な取り組み、国際交流や男女共同参画社会の推進等に努めており、特に豊かな人間性を育むまちづくりの一施策として生涯学習センターを建設するなど、「新時代に躍動する創造と活力ある文化都市」の実現を推進しています。

③人口・世帯数

		国勢調査			常住人口 (H16.4.1)
		H2	H7	H12	
人口 (人)	男	20,873	21,141	20,758	21,002
	女	21,467	21,542	21,257	21,383
	合計	42,340	42,683	42,015	42,385
世帯数		10,939	11,793	12,195	13,062

④有権者数(H15.12.2 現在) ⑤高齢人口割合(H12 国勢調査)

有権者数 (人)	男	女	計	高齢人口割合 19.5%
	16,381	16,917	33,298	

<産業・経済>

①生産・所得(平成12年度)

市町村内総生産	2,034億円	就業者1人当たり	8,141千円
住民所得	1,354億円	人口1人当たり	3,223千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(H12年度)	就業人口(H12国調)
第1次	3,310	1,257
第2次	122,530	9,350
第3次	81,428	11,365
総額・総数	207,268	22,028

③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (H12.2.1)	農家数 2,868	農業就業人口 2,977	農業産出額 (H14.1.1~H14.12.31) 6,220
製造業 (H14.12.31)	事業所数 171	従業者数 8,223	製造品出荷額等 (H14.1.1~H14.12.31) 342,105
卸・小売業 (H14.6.1)	商店数 598	従業者数 3,069	年間販売額 (H13.4.1~H14.3.31) 65,472

④特産物

豆腐、みそ、乾めん、せんべい、酒

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

年度	H13 決算	H14 決算	増減率
歳入	14,713,937	15,376,227	4.5
歳出	14,138,999	14,969,575	-5.5
形式収支	574,938	406,652	—
実質収支	366,319	148,705	—
単年度収支	-128,554	-217,614	—
実質単年度収支	-127,157	-517,252	—

②主な歳入・歳出(平成14年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	15,376	—	-891	-5.7
地方税	6,149	40.0	136	2.1
地方交付税	2,262	14.7	-680	-20.8
国庫支出金	1,540	10.0	42	4.1
地方債	1,984	12.9	-290	-20.3
うち臨時債費	418	2.7	—	—
その他	3,441	22.4	—	—
歳出	14,970	—	-744	-5.0
義務的経費	5,843	39.0	0	0
人件費	3,009	20.1	43	1.4
扶助費	1,259	8.4	100	9.3
公債費	1,575	10.5	101	7.1
投資的経費	3,391	22.7	—	—
普通建設事業費	3,391	22.7	-776	-23.4
うち補助	1,625	10.9	-195	-22.5
うち単独	1,669	11.1	-526	-23.1
その他の経費	5,735	38.3	—	—

③主要指標(平成14年度)

区分	指数等
基準財政収入額(H15)	5,092 百万円
基準財政需要額(H15)	6,732 百万円
標準税収入額等(H15)	6,692 百万円
標準財政規模(H15)	8,324 百万円
財政力指数(H13~15)	0.755
経常収支比率	89.8 %
公債費負担比率	13.8 %
起債制限比率(3ヶ年平均)	10.1 %
税の徴収率(過年)	12.2
税の徴収率(現年)	97.7
税の徴収率(合計)	91.4

④将来にわたる財政負担(平成14年度)

(単位:千円,%)

	現在高	比率
地方債現在高(A)	14,824,677	164.4
債務負担行為による 翌年度支出予定額(B)	1,018,879	—
実質債務残高(C=A+B)	15,843,556	175.7
積立金現在高(D)	1,502,913	16.7
将来にわたる財政負担(E=C-D)	14,340,643	159.0

⑤市町村税の状況(平成14年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税 (構成比)	2,260,900 (33.6)	2,056,365 (33.4)	91.0
固定資産税 (構成比)	3,702,027 (55.0)	3,363,116 (54.7)	90.8
その他の税 (構成比)	765,771 (11.4)	729,172 (11.9)	95.2
合計	6,728,698	6,148,653	91.4

＜公共施設整備状況＞(平成14年度)

小学校	9校	老人福祉施設	0ヶ所
中学校	3校	病院・診療所	42ヶ所
幼稚園	3園	道路改良率	20.9%
保育所	8ヶ所	道路舗装率	69.5%
図書館	1ヶ所	ごみ焼却処理率	53.3%
公営住宅	172戸	し尿衛生処理率	100.0%
1人当たり公園面積	14㎡	上水道等普及率	71.5%
公民館等	11ヶ所	排水等処理率	38.0%
体育館	3ヶ所	施設充足率(公私 立幼稚園保育所)	109.8%
プール	3ヶ所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
道路新設改良事業	H16	市内	193
都市下水道事業	H2 ~ H27	中妻ポンプ場設置	5,251
街路事業	H14 ~ H16	市道2-24号線	398
公営住宅建設事業	H16 ~ H17	設計監理等委託料 八間堀団地建替事業	751
重要文化財坂野 家住宅主屋保存 修理事業	H14 ~ H17	主屋保存修理工事	318

②今後の主要課題・特色ある行政等

- ・少子高齢化対策
- ・地球環境に配慮した生活様式の普及
- ・国際理解の推進
- ・情報化の推進
- ・地方分権・広域行政の推進
- ・男女共同参画社会形成
- ・生涯学習ネットワークの構築